

2024年度 技術開発支援事業 助成対象事業の概要

* 課題名:安全で安心できる暮らしの実現に資する技術

申請者 (代表)	所属組織	課題名	課題概要	研究又は 開発年度
金氏 裕也	鳥取大学学術研究院 工学系部門	液状補修材を適用した コンクリート構造物の補 修評価手法の開発	液状補修材を適用したコンクリート構造物の補修の良否を簡易的および非破壊的に評価する必要がある。そこで本研究では、補修評価の指標の一つであるコンクリート内部の補修材の移動範囲を簡易的に推定する手法を開発する。	2025・2026 (2ヶ年)
尾崎 則篤	広島大学大学院 先進理工系科学研究科	生活排水が水道管網に 混入し水道水の汚染を 引き起こしている可能 性の検討	本研究の目的は広島市内において市街地内の水道水に含まれる生活排水に由来する微量汚染物質を生生活排水の混入のマーカーとして測定、その時空間分布を明らかにすることで水道管網に生活排水が混入している実態を明らかにすることである。	2025 (1ヶ年)
赤松 良久	山口大学大学院 創成科学研究科	深層学習を活用した中 国地方の土石流被災リ スクの可視化	本研究では深層学習を用いて斜面崩壊位置および土石流の到達距離を予測することにより、土石流被災リスクを評価する手法を開発するとともに、中国地方の溪流に網羅的に適用し、リスクを可視化する。	2025・2026 (2ヶ年)
今西 将文	(株)ウエスコ	稠密重力探査による土 石流発生溪流の研究	土石流の土砂崩壊発生ポテンシャルの評価手法については「表層崩壊に起因する土石流発生危険度評価マニュアル(案)」が示されているが、本マニュアルで必要となる簡易貫入試験の広範囲な調査には高コストとなるため、実施された実績が少ない。 本研究では、レーザープロファイラーによる微地形測量とラコスト重力計を用いた探査を実施し、実用的な土砂崩壊発生ポテンシャルを評価するものである。	2025・2026 (2ヶ年)

* 課題名:建設現場の改善、負荷軽減に資する技術

申請者 (代表)	所属組織	課題名	課題概要	研究又は 開発年度
小村 芳生	(株)シンク・フジイ	ヘルメット装着型指向性 警報装置の開発	工事現場で監視員が危険行為を行う作業員を見つけた場合、携帯する送信機をその作業員のいる方向に向けてボタンを押すだけで作業員のヘルメットに取り付けた警報機器が作業員に危険を知らせる警報装置を開発する。	2025 (1ヶ年)